

◆竹灯籠作り体験の紹介◆

棚田地域の振興に資するため、九州農政局農村振興部の新規採用者を含む若手職員を中心とした活動状況を写真により紹介します。

活動の概要は、熊本県球磨郡球磨村にある「松谷棚田」と廃校となった小学校校舎を利用した農泊施設である「さんがうら」で、冬の棚田の魅力を発信するため、新型コロナで数年行われていなかった竹灯籠祭りを以前よりもパワーアップして復活させるといふ地域の取り組みについて、竹灯籠作り体験やイベントへの参加を行いました。(令和5年2月)



材料となる竹は、近隣にある球磨村村長さんの山に生えているものをさんがうら関係者で調達しました。工具は電動カッター、電動ノコギリ、電動ドリル、竹加工時の固定用台座、ガスバーナーなどが必要です。ドリル先端部は付け替えが可能な大きさの異なるドリルを使用して穴を開けます。



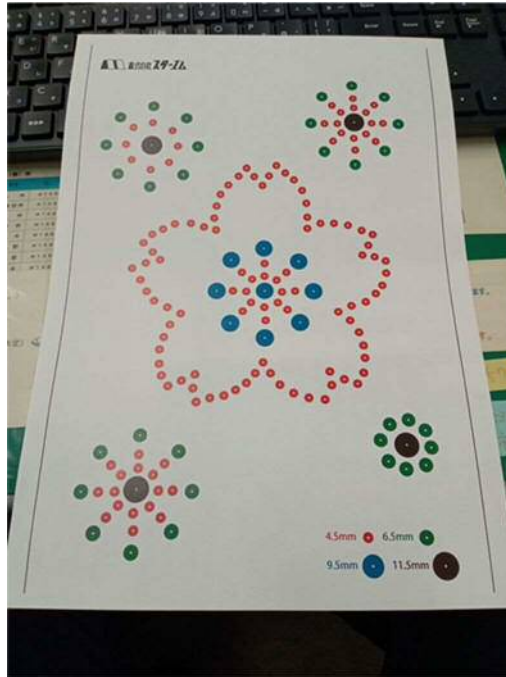
竹を固定する台座



ドリルによる加工



適当に開けても良く見える？



複雑なパターンも台紙を貼り、その通りに穴を開けることで綺麗な模様も製作可能です。



穴をあけた後は、ガスバーナーで表面を熱し、浮き出る油を拭きながら伸ばすことで、竹そのものが長持ちするようになるらしく、そのために表面処理を行います。(右側の写真は、表面処理完了後)

第1回竹灯笼作り体験 令和5年2月6日~7日



山間部に近いため、凄く寒かったですが、防寒着と時折、焚き火で暖をといながら作業を進めました。



はじめてなので慎重に・・・



凄く集中しながら作業しています。



彼は最初から職人みたいですね。



表面処理も火を使うので恐る恐る・・・。



2日目は慣れてきて数をこなすべく、ひたすら製作に没頭中



2日間の成果です(結構出来た)!



参加者一同で自慢の作品を持って記念撮影しました。

第2回竹灯籠作り体験 令和5年2月10日



冬の田んぼ(草を刈り、水を張り、竹灯籠を設置



前に製作した灯籠が広場に設置されてました。



この日は、植野農村振興部長が竹灯籠作りに挑戦しました。既に経験者のような風格が有ります。



若手職員も頑張っていました！





さんがうら小川施設長(中央)と植野農村振興部長及び若手職員にて記念撮影しました。

第3回竹灯籠作り体験 令和5年2月13日～14日



もうすぐイベント本番！最後の追い込みだ！



すっかり慣れた人も…。



繊細な模様ですね。



俺、この工程が好きかもです。



…結果、彼は職人になってました(笑)



案内板も作りました！



たくさん出来た！



こちらは復路用です。



いつの間にこんな絶景写真を・・・。



竹灯笼をメイン広場(旧運動場)に設置。



竹が倒れめよう土台のパイプを打ち込みました。



メイン広場の中央に配置する主役級の竹灯笼たち・・・本番が楽しみです。



さんがうら玄関にて若手職員で記念撮影。あとは本番を待ちます。



おまけ:休憩中の1枚ですが、体力が有り余ってますw



おまけ:1日目の晩飯
(生姜焼き、おでん、太平燕ほか)



おまけ:2日目の昼飯
(カレーライス、とんかつ、サラダほか)

最後に、体験に参加した若手職員の感想を少し紹介します。

- ・いろいろな体験をとおして視野を広くするという意味でも大事だと思った。
- ・地元の方々との交流や、みんなで入ったお風呂など、とてもいい思い出になった。
- ・思った以上に力と集中力を要する作業で、体力的疲労を感じるとともに、それ以上に長い時間を費やして竹灯籠づくりをしているさんがうらの方々之苦労と今回のイベントを成功させたいという強い思いを感じることができた。
- ・地域の人手不足や資金面の問題を実感する取り組みとなった。
- ・小学校の旧校舎に宿泊するというのが、なかなかできない体験だったのでとてもワクワクした。
- ・何と言っても料理がおいしかったし、普段食べないものもあったので、毎回ご飯が楽しみだった。
- ・球磨地域の魅力を感じることが出来たので参加してよかった。
- ・旅行の際や普段、何気なく見ている風景の中に棚田を意識するようになった。

★くまむら灯籠祭(令和5年2月18~19日)★ イベント当日

令和4年度農林水産省農山漁村振興交付金（農泊推進対策）事業

くまむら灯籠祭

KUMAMURA Lantern Festival

令和5年2月18日（土曜日）16：30～ 雨天決行
会場：田舎の体験交流館さんがうら及び松谷棚田

くまむら灯籠祭日程	※当日の竹灯籠への点火ボランティアも大歓迎します。 徐々に美しくなる灯籠の姿と光景を楽しみませんか。 点火ボランティア参加ご希望の方は、16時までに会場までお越しください。※雨天時は会場レイアウトが変更となります。
16：30 灯籠祭点火開始	
17：00 バザー販売開始	
18：00 プロジェクションマッピング	
21：00 灯籠祭終了	★球磨村の食を中心としたバザーも開催します



食のバザー（販売予定）

- 球磨川大鱒加工品
- ジビエ商品（料理、ソーセージ他）
- 一勝地赤豚（赤豚餃子他）
- 球磨村特産品・鹿カツカレー

この他にも球磨村自慢の食が目白押し！
お楽しみにお越しください。
※販売内容は変更となる場合があります。

球磨村自慢の食を楽しみながら素敵な夜を過ごしませんか。竹灯籠をご自分で作られている方は是非ご持参ください。一緒に球磨村の夜に灯籠の明かりを灯しましょう。プロジェクションマッピングで美しい球磨村の風景もご覧になれます。

主催：田舎の体験交流館さんがうら運営委員会・一般社団法人ムラたび九州
後援：球磨村

出店(予定)：ジビエの里活用協議会 一勝地やまめ養魚場 渡地域農業活性化協議会
くま川アグリラボ協議会 球磨村農産加工グループ「あじさい」山の食菜「ならがわ」

問合せ先：田舎の体験交流館さんがうら運営委員会（田舎の体験交流館さんがうら内）
〒869-6402 熊本県球磨郡球磨村三ヶ浦乙629-3 TEL:0966-32-0443 E-Mail:info@sangaura.com

ルート案内 

くまむら灯籠祭イベントのチラシです。



さんがうら関係者・大学生・農政局職員等の全員で最終ミーティング中。



メイン広場(旧運動場)には竹灯籠が全て設置されました。



さんがうら(旧校舎)の前面部にも無事設置されました。



農政局ブースの準備も無事に終わりました。あとは人が沢山来ますように(>人<)



従前の灯籠祭から活躍してきた竹灯籠を施設周辺や田んぼ周りに設置。(凄く教でした)



ハートマークも良い感じに映えるんでしょうね



夕方5時頃に開演。心配された天候(雨予報)も何とか崩れず持ちこたえてくれました。
農政局ブースでは、九州各地の棚田に関する様々な情報発信のため、パンフレット等の配布を行い、参加者はおしるこを食べながらアンケートを書きました。



農村振興部の幹部が手作りの仕掛け装置です。
ひもを引くとお菓子が1個つり上がるこの装置ですが、子供達に大人気でした(笑)



本イベントでは、地元のお店が出店し、鹿カツカレーやだご汁、鮎の塩焼き、ジビエ料理などを販売。参加者は舌鼓を打ちながら食べていましたが、想像以上のスピードで完売していました。



メイン広場の様子です。良い感じに暗くなり、竹灯籠が映えだし始めました。とても綺麗ですね。



さんがうら小川施設長の力作。

火が灯ると綺麗ですね！

田んぼの全景(天の川みたい)



田に水を張り、竹灯籠を設置しています。灯りが水面に反射して幻想的です。



皆で製作した竹灯籠と従前の竹灯籠がどちらも味を出してますね！ 花火柄も綺麗です。



かがい火は力強いですね。



広場中央の大灯籠



小灯籠も素敵です！



球磨村役場によるプロジェクションマッピング



広場中央入口(イルミネーションが色鮮やかですね)

翌日の様子です。



当日のイベント終了後(深夜)から翌日にかけて雨模様でした。合羽を着て片付けました。



本当にお疲れ様です！

女子大生と記念撮影して気力復活！？



若手職員で記念撮影！みんな仲良し！



センスある！枚ですわ！



広場に広げた時の様子です。これを乾かした後に収納します。竹灯籠にお疲れ様とりたいです。



さんがうらの中も掃除して完了。



来たときよりも美しく。

